







福祉事業所の利用者たちと合唱するあんべさん(上段左)

えさし

灯火が照らすみんなの願い

ヒロノ福祉パーク祭

第4回ヒロノ福祉パーク祭(同実行委員会主催)が8月2日、同パークで開催されました。演芸祭や仮装盆踊り大会などの後、2014夢灯り in 江刺がスタート。市民手作りの夢灯りスタンド1,700 個あまりの柔らかな光に包まれる中、シンガーソングライターのあんべ光俊さんのコンサートが行われました。

あんべさんは「遠野物語」「星の旅」などの代表曲を 熱唱し、その後、みんなが安心して暮らせるまちを願 い、来場者と心を一つに合唱しました。



真剣なまなざしで座禅に取りくむ子どもたち



体験を通して礼儀を学ぼう

第34回水沢寺子屋

夏の恒例行事となった「水沢寺子屋」(同実行委員会 主催) が7月30日から8月6日までの間、区内の17 寺社を会場に開催されました。

今年で34回目を迎えたこの事業は、「寺子」と呼ばれる小学生とお世話係の中高生が交流を深め、体験の中からコミュニケーション能力を醸成してもらおうと開催されているもの。黒石地区の藤春院会場に参加した伊藤小遥さん(黒石小3年)は「みんな一緒に泊まれるのが楽しみ」と目を輝かせていました。



みんなに見守られ、泣きながらも餅の重さに負けずに歩きました

いさか

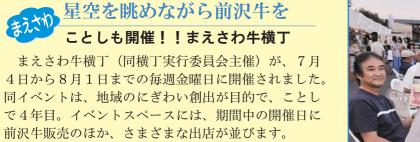
(水の) 健やかな成長を地域で願い

第22回愛宕神社まつり

愛宕神社まつり(愛宕山神社管理運営委員会主催) が7月26日、同神社境内で開催されました。

杉の木に囲まれた境内は涼しく感じられ、参加者は 腕相撲大会や奥州はっと流しなどを楽しみました。

「ちびっこ三吉一番背負い」では、2歳未満の子どもたちが約1.5 元之の餅を背負い、約4 元を懸命に挑戦。黙々と歩き切った及川すみれちゃん(1)の姿に、母親のあゆみさん(29)は「泣くかと思ったけど頑張った」と娘の成長に笑みを浮かべました。



7月11日は台風の影響で翌日に順延。この日、会場を訪れた静岡県出身で水沢区在住の中村公一さん(55)は「初めて前沢牛を食べました。とてもおいしい!」と、仲間と楽しく酒を酌み交わしていました。



職場の仲間と楽しい時間を過ごします

まえかり

10年の節目に 1000 人が舞う

奥州前沢よさこい FestaX



演舞から踊る楽しさが伝わってくる前沢の「紅翔連」

ことしで 10 年目の節目を迎えた奥州 前沢よさこい Festa X (同実行委員会主催) が 7 月 13 日、イオン前沢店 駐車場、アスティ商店街通り、前沢ふれあいセンターなど 4 カ所を会場に開催されました。

「商店街を活気付けよう」と始まった同フェスタ。初年は30に満たなかった参加団体も、市内だけでなく県内外から43団体、約1,000人の踊り手が参加し、前沢を代表するイベントの一つに成長しました。

当日は、途中から雨が降り出すあい にくの天候となりましたが、踊り手た ちが笑顔で躍動感溢れる演舞を披露す ると、訪れた観客も自然と笑顔に。色 とりどりの衣装と迫力ある創作演舞を 披露する各団体に、観客から盛大な拍 手が送られました。

えさし

新感覚の体験ガイドツアー

えさし藤原の郷~平安夏祭~

えさし藤原の郷の平安夏祭が7月26日から開催され、県内初となるセグウェイの乗車ツアーが話題を呼んでいます。身体の傾きに反応して走る電動2輪車セグウェイは、スキーやスノーボードに近い乗り心地。 夫婦で乗車した仙台市の平間玲さん(30)は「景色もきれいで楽しかった。一家に1台欲しい」とセグウェイでロケ地を走る感覚は癖になるようです。

同ツアーは夏祭り終了後も8月24日まで開催予定。 詳しくはえさし藤原の郷までお問い合わせください。



ガイドからロケの解説を聞きながらセグウェイを走らせる



紙芝居を食い入るように見詰める子どもたち

手作りの温もりを伝えたい

第5回Zホール手づくり紙しばいまつり

市文化振興財団(菅原義子理事長)が主催する「第 5回Zホール手づくり紙しばいまつり」が7月26日、 市文化会館を会場に開催されました。

ことしで5回目を迎えたこのイベントは、市内にある紙芝居を読み聞かせながら、手作り紙芝居の良さを体感してもらおうと、夏休みを迎えたこの時期に毎年開催されているもの。仕掛け紙芝居のほか、切り絵やブラックライトを使用した紙芝居も披露され、訪れた人たちは楽しいひとときを過ごしました。

No. 102 (2014. 8) 18